

貸借対照表

(平成26年3月31日現在)

(単位：千円)

科 目	金 額	科 目	金 額
資産の部		負債の部	
流動資産	347,964	流動負債	219,654
現金及び預金	48,596	買掛金	154,877
売掛金・受取手形	163,300	短期借入金	34,823
商品	129,413	未払金	29,129
未収消費税	759	未払消費税	-
その他	5,893	その他	824
固定資産	30,058	固定負債	24,098
有形固定資産	2,626	長期借入金	22,298
工具器具備品	2,626	長期リース未払金	1,800
無形固定資産	11,215	負債の部合計	243,753
ソフトウェア	11,029	純資産の部	
その他	186	株主資本	55,000
投資その他の資産	16,217	資本金	55,000
出資金	100	資本剰余金	-
保証金	15,103	利益剰余金	79,269
長期前払費用	1,013	その他利益剰余金	79,269
破産更正債権等	0	純資産の部合計	134,269
貸倒引当金	0	負債及び純資産合計	378,022
資産合計	378,022		

注 1. 当期純利益 80,038 千円

2. 記載金額は千円未満を切捨てて表示しております。

個別注記表

1. 重要な会計方針に係る事項に関する注記

(1) 棚卸資産の評価基準及び評価方法

総平均法による低価法を採用しています。

(2) 固定資産の減価償却の方法

有形固定資産

定率法を採用しております。

主な耐用年数は以下のとおりです。

工具器具備品 5年

無形固定資産

定額法を採用しております。

自社利用のソフトウェアについては、社内における利用可能期間(5年)に基づいております。

リース資産

所有権移転外ファイナンス・リース取引に係るリース資産

リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法を採用しております。

(3) 引当金の計上基準

貸倒引当金

営業債権等の貸倒れによる損失に備えるため、貸倒懸念債権等特定の債権については個別に回収可能性を検討し、回収不能見込額を計上しております。

(4) 収益および費用の計上基準

収益については、有料サンプリングは出荷基準、その他は実現主義に基づき計上しております。

費用については発生主義に基づき計上しております。

(5) その他計算書類作成のための基本となる重要な事項

リース取引の処理方法

リース料総額が300万円未満の所有権移転外ファイナンス・リース取引につきましては、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっております。

消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税抜方式によっております。

2. 会計上の見積もりの変更に関する注記

事業用基幹システムのリプレイスを予定しており、耐用年数の見直しを行っております。

これにより、従来の方法と比べ、減価償却費は2,895千円増加しております。この結果、当期の営業利益、経常利益、純利益はそれぞれ2,895千円減少しております。

3. 貸借対照表に関する注記

有形固定資産の減価償却累計額	2,388 千円
関係会社に対する金銭債務	
短期借入金	30,000 千円
未払金	371 千円
取締役に対する金銭債権	
未収入金	112 千円

4. 損益計算書に関する注記

(1) 関係会社との取引高

営業取引による取引高

売上高	700 千円
売上原価	- 千円
販売費および一般管理費	58,567 千円

営業取引以外の取引高

支払利息	80 千円
------	-------

5. 株主資本等変動計算書に関する注記

発行済株式の種類及び総数に関する事項

株式の種類	前期末株式数	当期増加株式数	当期減少株式数	当期末株式数
普通株式	8,418 株	- 株	-	8,418 株

6. 重要な後発事象

当社は、ちゃぷルの仕入モデルのさらなる拡大に向けた商品調達資金として、親会社である株式会社オールアバウトより、以下のとおり借入を行っております。

借入日	借入金額	返済期日
平成 26 年 4 月 11 日	40 百万円	平成 27 年 3 月 31 日
平成 26 年 4 月 28 日	50 百万円	平成 27 年 3 月 31 日

以上